

本社編集局 023(622)5385
 長井支社 0238(84)2220
 天童支社 023(653)2230
 南陽支社 0238(40)2451
 上山支社 023(672)5821
 米沢支社 0238(23)3222
 地域の情報をお寄せください

署長)は13日、舟形町長者原の福寿湖で救助訓練を実施した。

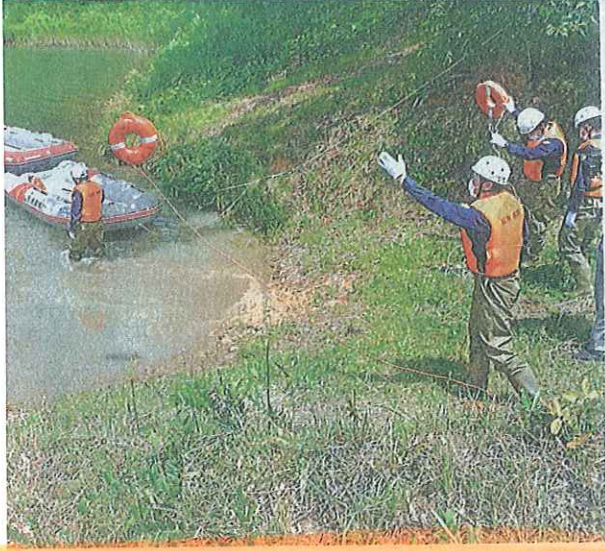
住宅が浸水した想定で実施した。若手署員14人が参加し、県警警備2課員が指導した。

救命浮輪の訓練では、要救助者役に署員がひもが付いた浮輪を投げ、ひもを引っ張って助けるまでを実践した。指導者は正確に投げ入れるために「引き上げる人の頭を越すように」と助言し、署員は「これにつかまってください」と言いながら浮輪を投げていた。

同署の志貴昭一警備課長は「いざという時に備えて訓練を重ねたい」と語った。出水期に合わせたこの時期に毎年実施している。(斎藤吉貴)

救命浮輪の使い方

新庄署



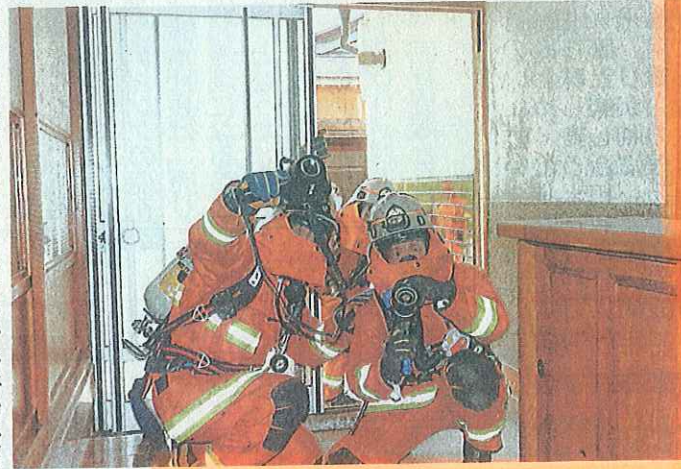
解体前の建物で消火手順

西村山広域消防本部隊員

寒河江

解体前の建物を活用した消防訓練が5、6の両日、寒河江市の法雲寺で行われた。西村山広域行政事務組合消防本部の隊員が実際の現場に近い環境で、手順の確認をした。

産業廃棄物処理業のアルテック(後藤重喜社長)が協力し、同本部に建物を提供した。訓練には実際の現場で指揮を執る小隊長級の隊員14人が参加し、出火場所が不明で、建物内で火



解体前の建物「ドラフト」や、局所的な火災が短時間で一気に拡大する「フラッシュオーバー」などの現象に注意を払いながら慎重に入り、放水した。



県内外の小学生が参加し熱い戦いを繰り広げた 山形市総合スポーツセンター

山形

第1回モルテンカップ小学生バレーボール交流大会が8、9の両日、山形市総合スポーツセンターなどで開かれ、東北各地から55チームが出場し熱戦を繰り広げた。競技関係者が実行委員会を組織し、3年前から開催に向け準備を進めていたが新型コロナウイルス禍で実施できずにいた大会。3、4チームによるグループリーグ(予選)を経て、予選順位が同じチーム同士でト

非常時の連携 情報共有確認 警察署員と市職員 寒河江警察署と寒河江市は6日、合同の図上訓練を同市役所で行った。非常時の連携や情報共有の流れを確認

た。未明に同市で大雨警報が発令され、田代や幸生で土砂崩れが発生し両地区の住民が孤立したなどの想定で行われた。署員と市職員が人が人や行方不明者がいるといった情報を電話で共有し、ホワイトボードや地図に書き出してまとめた。同署と市、西村山広域行政事務組合消防本部は、災害発生時に3者間で情報共有を行う災害協力相互協定を締結している。同署の篠田大介警備課長は「災害時の情報集約は現場の迅速な対応につながる。対面で行い、協力関係を構築することが大切」と語った。市防

来月26日 市日中友好協30周年を記念 米沢市日中友好協会(会長・中川勝市長)は設立30周年記念事業として8月26日、同市の上杉城史苑で二胡のコンサートを開く。午後5時開演で、山形市の二胡奏者・岩瀨時和さんと花輪典子さんのピアノによる演奏。曲目は「ラストエンペラーのテーマ」や「名曲の流れるよるに」などだ。予選

東北の55チームが熱戦 モルテンカップ小学生バレー クババールJボス一々少少V一果!